

# 《破庵（いわき破庵）》設置仕様書

竹内啓子

## はじめに

中村一美作《破庵（いわき破庵）》(fig. 1)は、令和2(2020)年3月31日から6月21日まで、令和2年度常設展前期Iの一部として1階ロビーに展示された。3月28日に行った組み立て作業は、大工2名(制作当初から関わってきた1名を含む)と美術館スタッフ4名(記録係も含む)で行い、9時に開始し16時頃に終了した。本設置仕様書は、この組み立て作業に基づき作成したものである。

## 《破庵（いわき破庵）》について

### 作品概要

作者名：中村一美（なかむらかずみ／1956年生まれ）

作品名：破庵（いわき破庵）

制昨年：2002年

素材：木、石、ボルト

サイズ（cm）：高さ315×幅260×奥行425

取得年月日：2003年3月7日

取得方法：作家寄贈

### 展覧会出品歴：

- 2002年9月8日（日）～10月27日（日）  
「中村一美展」いわき市立美術館
- 2002年11月12日（火）～12月15日（日）  
「傾く小屋 美術家たちの証言 since 9.11」東京都現代美術館
- 2006年8月4日（金）～2006年10月1日（日）  
「愉しき家」愛知県美術館
- 2020年3月31日（火）～6月21日（日）  
※4月18日～5月20日は臨時休館  
「令和2年度常設展前期I 収蔵作家セレクション vol. 1 中村一美」いわき市立美術館



fig. 1

《破庵》は、木材（ヒノキ）と石、ボルトを素材としており、設置手順が記されたパネル（ベニヤ板）や専用レンチなどと一緒に保管されている。木材はそれぞれのパーツに、「A」、「2N」、「増①」などと数字、漢字、アルファベットを用いた記号が付されており（fig. 2）、数字の「2」は2階部分、つまり下部構造の上に乗る上部構造であることを表し、「増」は構造上の強度を保つために足された\*1パーツであることを示す。また、「G+F」のように「+」がついているものは、すでに金具等で連結されていることを示し、複数のパーツが連結された状態で1点と数える。これらは、以下の通り、各部分ごとにまとめられ、エアキャップ等で梱包されている。

なお、2002年の組み立て作業を撮影した写真アルバ

\*1 「増」と記されたパーツは、中村一美が制作した当初の《いわき破庵模型》や「破庵模型寸法図」にはなかったパーツであり、平成14（2002）年5月に当館の1階ロビーで初めて組み立てた際に、大工の志賀秀範との協議により補強のため付け加えられた。

ム2冊、2020年の組み立て作業を撮影した画像と動画を当館資料として有している。



fig. 2

1. 土台 8点 (Q、F+G、A、P、D、I、O、W)
2. 1階/柱・筋交 4点 (X+X'+X'', W-W、W-W'、W-W'')
3. 1階/柱・筋交 4点 (E、E'、E'', B+B'+C)
4. 1階/柱・筋交 4点 (L+L'、N'、M、N)
5. 1階/柱・筋交・土台 5点 (T、V、V'、R+R'、U)
6. 1階/柱・筋交 4点 (H+H'、K、S、V'')
7. 1階/頬杖 1点 (2L'')
8. 2階床梁部分 11点 (2S+2S'、2L+2L'、2I+2I'、2J+2J'、2K+2K'、増①、増②、増③、増④、増⑤、増⑥)
9. 2階/筋交 2点 (2A'、2C'')
10. 2階/柱 2点 (2A+2A'、2C+2C')
11. 2階/柱 2点 (2B+2B'、2D+2D')
12. 1階屋根部分/柱・筋交 2点 (2N'、2N''')
13. 1階屋根部分/中柱 2点 (2O''+2O''', 2P''+2P''')
14. 1階屋根部分 6点 (2N+2N'、2M+2M'、2O+2O'、2P+2P'、2M''、2M''')
15. 2階屋根部分 8点 (2G+2G'、2H+2H'、2R+2R'、2Q+2Q'、増⑦、増⑧、増⑨、増⑩)
16. 石 (2個。うち1個は予備)、ボルト、六角レンチ、「破庵模型寸法図 (複写)」

このほか展示・組み立てのためのパネル (ベニヤ板) 12枚

### 組み立て前の確認事項

1) 使用するボルトの長さは、50 mm、60 mm、70 mm の3種類で、どれを使用するかは各パーツの木口に赤字で記載されている。ボルトの長さを間違えないようにすることが重要。(fig. 3-4)



fig. 3



fig. 4

- 2) 組み立て・分解するのは、六角ボルトの部分だけであり、金具で連結してあるパーツは分解しない。
- 3) ボルトのみを締める場合は手で締める。ボルトとナットを締める場合は電動ドリルを使用しても構わないが、最後は組み立て具合をみながら六角ドライバーで締めること。
- 4) 組み立ては、設置手順が記されたパネル上で行う。パネルは、下部構造が組みあがった段階、または作品が完成した段階で取り外すことができる。なお作品の設置位

置については、パネルを組み合わせる段階で想定しておくのが望ましいが、最終的な修正は組み立て終了後でも可能である。

## 準備作業

1) 組み立て部材を、1階部分と2階部分に分けて、概ね組み立て順に並べる。(fig. 5)



fig. 5

2) 設置手順が記されたパネル12枚を組み合わせ、およその場所や向きを決めて配置。

パネルには1~12の番号が付されており、1~6の連結と7~12の連結を組み合わせた2列連結となる。組み立ての際は最後に石を置く方向を「前」としており、パネル1に「前」の記述がある（実際に石を置く場所はパネル2にあたる）。パネル配置後、パネル同士を養生テープやガムテープなどで軽く連結しておく。(fig. 6-7)

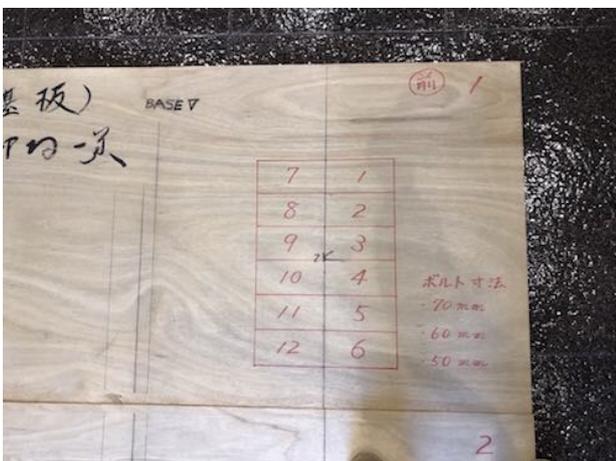


fig. 6



fig. 7

3) 組み立てに必要な道具（レンチ、電動ドリル、脚立、短い4寸角材4本など）を用意する。

## 組み立て作業

パネル上には、土台パーツの底面図が描かれているとともに、組み立て方法と手順が青色マジック（1階部分）と緑色マジック（2階部分）で記されており、それに従い組み立てていく。（ただし、具体的な組み立て方法・手順の説明は、必ずしも本設置仕様書とパネル上に記載された説明文とで一致していない。最終的には、具体的な記述を加味した本仕様書に準じて組み立てを行うこと。）土台を並べる際は、パネル側の記号と土台側の記号（ウラ）を接するように並べる。（fig. 8-9）

なお、土台の組み立ては「前」の方（石を置く方向）から行う。土台を連結する際は、ボルトをしっかり締める。柱、筋交いのボルトについては、最初から締め付けず、様子をみながら適宜締める。



fig. 8

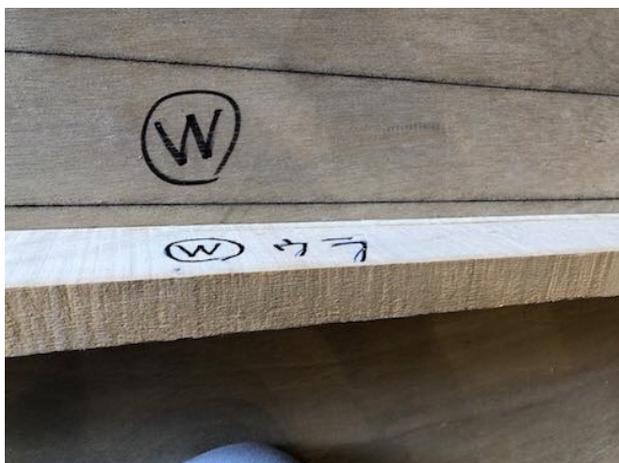


fig. 9

1) 土台Wと土台Iを連結する。（fig. 10）



fig. 10

2) 柱X + X' + X''（パネルには柱Xと表記）を土台Dに先付けする。（fig. 11-12）



fig. 11

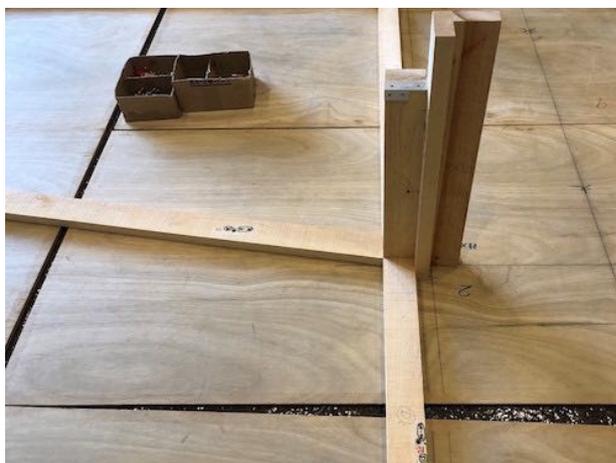


fig. 12

3) 土台Iと土台Oを連結する。(fig. 13)



fig. 13

4) 土台Dと土台Oを連結する。

5) 柱B + B' + C (パネルには柱BCと表記) を立てる。

6) 土台Aと柱B部分を連結する。(fig. 14-15)



fig. 14



fig. 15

7) 土台Aと土台F + G (パネルには土台Fと表記) を連結する。(fig. 16)



fig. 16

8) 土台Iと土台F部分を連結する。

9) 土台F部分と土台Pを連結する。(fig. 17-18)



fig. 17

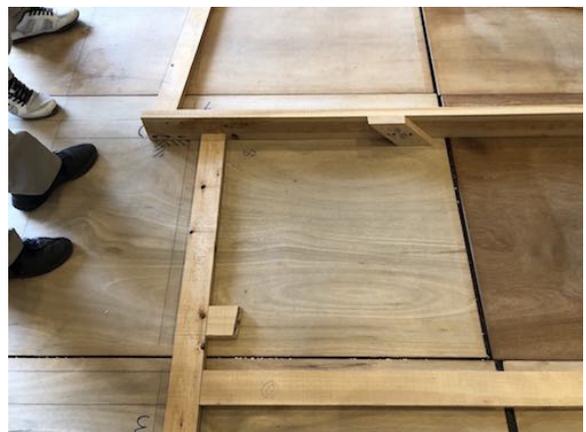


fig. 18

10) 土台Aに柱L + L' (パネルには柱LL'と表記) を連結する。

11) 土台Qに柱L部分を取り付ける。(fig. 19)



fig. 19

12) 土台Pと土台Qを連結する。

13) 土台Qに柱R + R' (パネルには柱Rと表記) を取り付ける。

14) 土台Uを柱R + R'に連結する。(fig. 20-21)

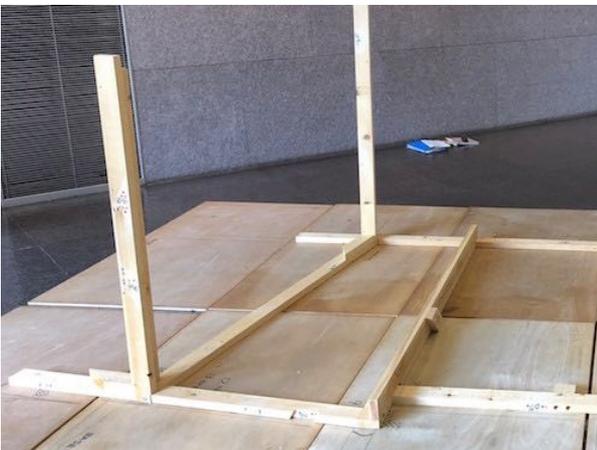


fig. 20



fig. 21

15) 柱H + H' (パネルには柱Hと表記) を土台F + G (パネルには土台Gと表記) に連結して立てる。(ボルトナット締め)。(fig. 22-23)



fig. 22

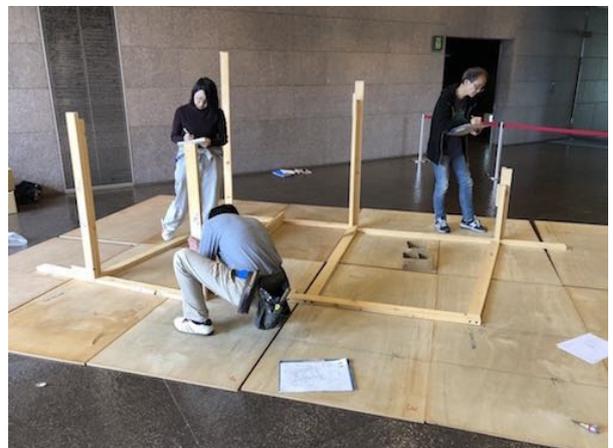


fig. 23

以上で1階柱まわりの組み立てが終了。

16) 筋交W-W、W-W'、W-W''の3本を柱X+X'+X'' (パネルには柱Xと表記)に取り付ける (最初は3本とも軽く締め、最後に本締めする)。なお、筋交W-W'と柱X'はボルトナット締め。(fig. 24-25)



fig. 24



fig. 25

17) 筋交E、E'、E''の3本を柱B+B'+Cに取り付ける (最初は3本を軽く締め、最後に本締め)。筋交E'と柱B'はボルトナット締め。(fig. 26)



fig. 26

18) 筋交N、N'、Mの3本を柱L+L'に取り付ける (最初は3本を軽く締め、最後に本締め)。筋交N'と柱L'はボルトナット締め。(fig. 27)



fig. 27

19) 筋交V、V'、Tの3本を柱R+R'に取り付ける（最初は3本を軽く締め、最後に本締め）。筋交Vと柱R'、筋交Tと柱Rは、それぞれボルトナット締め。（fig. 28-29）



fig. 28

20) 筋交S、K、V''の3本を柱H+H'に取り付ける（最初は3本を軽く締め、最後に本締め）。筋交Kと柱H、筋交V''と柱H'は、それぞれボルトナット締め。（fig. 30-31）



fig. 30



fig. 29



fig. 31

以上で1階筋交組み立て終了。ここでパネルを外しても可。(fig. 32-35)



fig. 32



fig. 35



fig. 33



fig. 34

続いて2階組み立て作業を行う。

21) 2階床梁部分のパーツ11点 (2S + 2S'、2L + 2L'、2I + 2I'、2J + 2J'、2K + 2K'、増①、増②、増③、増④、増⑤、増⑥) を仮組みする。仮組みの際は、4寸角材を四隅下にかましてbolt締めを行う。

まず、2S + 2S'、2L + 2L'、2I + 2I'、2J + 2J'、2K + 2K' を、直角を確認しつつ組み上げる。このとき、60mmと70mmのboltの長さに要注意。boltが二つ並んだところは、内側をboltナット締め、外側をbolt締めにし、boltが一つだけのところはboltナット締める (参考図版あり)。(fig. 36-40)



fig. 36

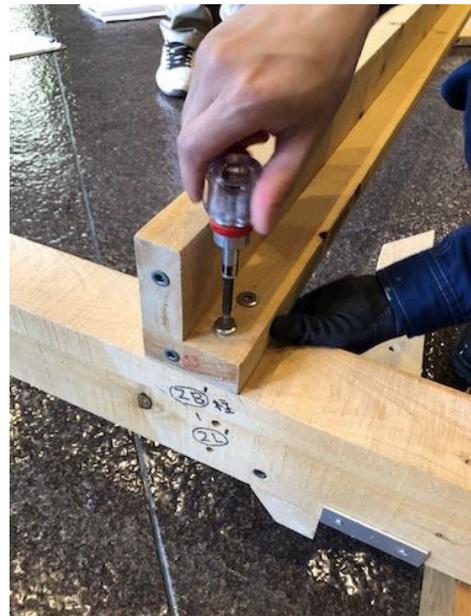


fig. 38



fig. 39



fig. 37



fig. 40

次に、増①、増②、増③、増④、増⑤、増⑥を取り付ける。  
(fig. 41-42)



fig. 41



fig. 44



fig. 42



fig. 45

2) 2階床梁部分を1階に乗せる。(fig. 43-56)



fig. 43



fig. 46



fig. 47



fig. 50



fig. 48



fig. 51



fig. 49



fig. 52



fig. 53



fig. 56

2L" (頬杖) と 2L + 2L' を連結する。(fig. 57-58)



fig. 54



fig. 57

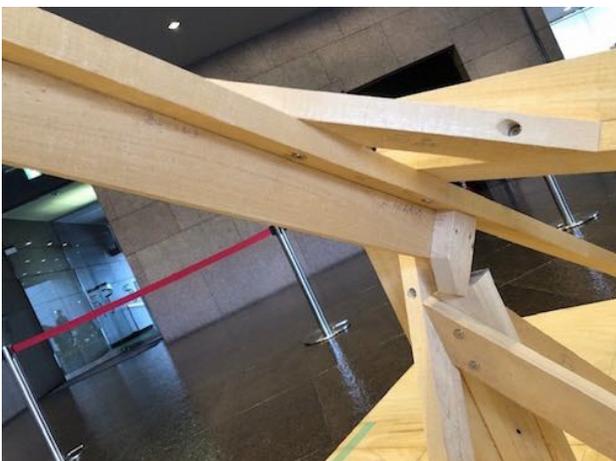


fig. 55



fig. 58

23) 2階床梁部分2S + 2S'に柱2C + 2C'を取り付ける。5本のボルト締め（ボルトナット締めは3か所）。  
(fig. 59-62)



fig. 59



fig. 61



fig. 60



fig. 62

24) 2階床梁部分2S + 2S'に柱2D + 2D'を取り付ける。  
5本のボルト締め(ボルトナット締めは3か所)。(fig. 63)



fig. 63

25) 2階床梁部分2L + 2L'に柱2B + 2B'を取り付ける  
(クランプ使用)。5本のボルト締め(ボルトナット締め  
は2か所)。(fig. 64-67)



fig. 65



fig. 66



fig. 64



fig. 67

26) 2階床梁部分 $2L + 2L'$ に柱 $2A + 2A'$ を取り付ける。  
5本のボルト締め(ボルトナット締めは3か所)。(fig. 68)



fig. 68

27) 1階屋根部分を組み立てる。パーツ6点 ( $2N + 2N'$ 、 $2O + 2O'$ 、 $2M + 2M'$ 、 $2P + 2P'$ 、 $2M''$ 、 $2M'''$ )を組み立てる際、□と□、○と○、△と△、◇と◇を合わせる。(fig. 69-74)



fig. 69



fig. 70



fig. 71



fig. 72



fig. 73



fig. 76

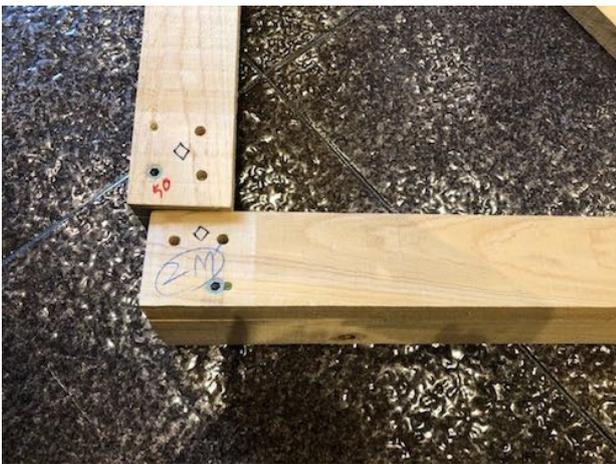


fig. 74



fig. 77

28) 1階屋根部分を乗せる。(fig. 75-78)



fig. 75



fig. 78

2階柱2B + 2B'を1階屋根部分2P + 2P'に、2階柱2D + 2D'を1階屋根部分2O + 2O'に取り付ける(それぞれボルトナット4本締め)。(fig. 79-84)



fig. 79



fig. 82

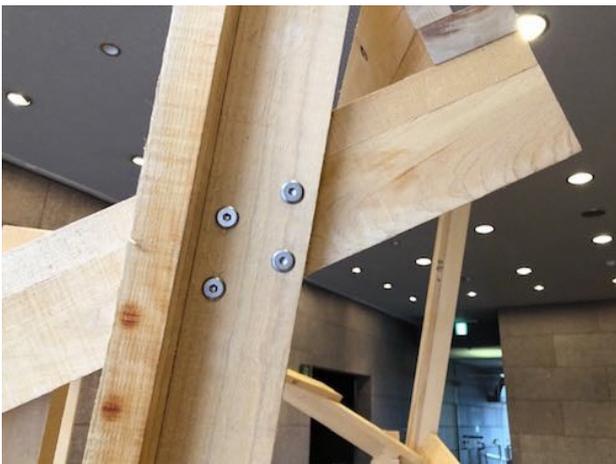


fig. 80



fig. 83



fig. 81



fig. 84

四隅を下からのボルト締め（各1か所）。(fig. 85)



fig. 85

2O'' + 2O''' (2階中柱) を2O部分と2S部分に取り付ける (ボルト1か所締め)。(fig. 87-91)



fig. 87

2P'' + 2P''' (2階中柱) を2P部分と2L部分に取り付ける (ボルト1か所締め)。(fig. 86)



fig. 86



fig. 88



fig. 89



fig. 90



fig. 92



fig. 91



fig. 93

29) 2階屋根部分を組み立てる。パーツ8点 (2G+2G'、2H+2H'、2Q+2Q'、2R+2R'、増⑦、増⑧、増⑨、増⑩) を組み立てる際、マーキング (☆等の記号) をそれぞれ合わせること。(fig. 92-93)

30) 2階屋根部分を乗せる。(fig. 94-95)



fig. 94



fig. 95

梁2Rを柱2A部分に取り付ける (ボルトは外から4本)。(fig. 96-97)



fig. 96



fig. 97

梁2Rを柱2B部分に取り付ける (ボルトは外から3本、内から1本)。(fig. 98-100)



fig. 98



fig. 99



fig. 100

梁2Qを柱2D部分に取り付ける（ボルトは外から3本、内から1本）。(fig. 102-103)



fig. 102

梁2Qを柱2C部分に取り付ける（ボルトは外から4本）。(fig. 101)



fig. 101



fig. 103

31) 2N'' を1階柱Lと1階屋根部分梁2Nに取り付ける。(fig. 104)  
2C'' を2階柱2Cと1階床梁2Jに取り付ける。(fig. 106)



fig. 104



fig. 106

2N''' を1階柱Rと1階屋根部分梁2Nに取り付ける。(fig. 105)  
2A'' を2階柱2Aと1階床梁2Jに取り付ける。(fig. 107)



fig. 105



fig. 107

(最後までパネルを敷いたままにしておいた場合、6人程度でパネルを抜く)

パネルを抜いた状態 (fig. 108-115)



fig. 108



fig. 109

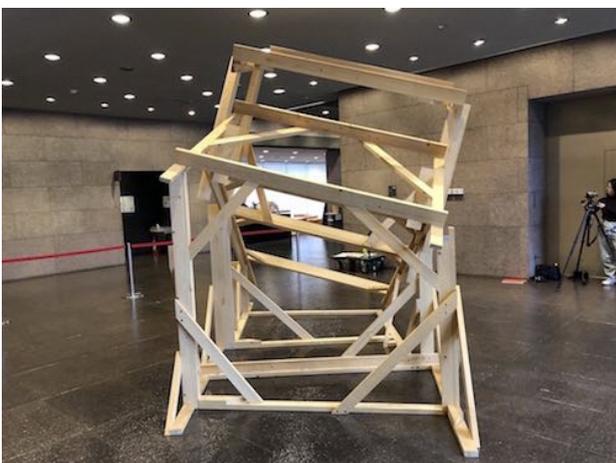


fig. 110



fig. 111



fig. 112



fig. 113



fig. 114



fig. 115

32) 石をかまして、完成。(fig. 116)



fig. 116

(たけうちひろこ いわき市立美術館学芸係長)

